

● ブックトークシナリオ

【テーマ】 戦争になるとどうなるの？

【対象】 小学校3・4年生

【所要時間】 26分

シナリオの記載方法について

- ・動作は□で囲ってあります。
- ・表示したページ番号は、ここで使用した本によります。版が違えば、確認してください。
- ・本を朗読する部分は、【 】で囲った太字になっています。
- ・本と本をつなぐ言葉は二重下線を引いてあります。

【紹介する本】

	書名	著者名	出版社	出版年
1	へいわとせんそう	たにかわしゅんたろう／ぶん Noritake／え	ブロンズ新社	2019
2	アンネ・フランク ものがたり ～かくれ家の少女～	J.ハルウィッツ／作 斉藤美加／訳 高田勲／画 早乙女勝元／解説	金の星社	1992
3	さがしています	アーサー・ビナード／作 岡倉禎志／写真	童心社	2012
4	かあちゃんのジャガイモ ばたけ	アニタ・ローベル／さく まつかわまゆみ／やく	評論社	2018
5	せんそうがやってきた日	ニコラ・デイビス／作 レベッカ・コップ／絵 長友恵子／訳	鈴木出版	2020

【シナリオ】

●導入

今、世界のあちこちで紛争や戦争が起きています。戦争になると、毎日の暮らしはどうなるのでしょうか？ケガをせずに元気で、ご飯を食べたり、学校へ行くことができるのでしょうか。「戦争になるとどうなるの？」をテーマに、戦争のことを詳しく知ることができる本を紹介します。

1 『へいわとせんそう』

表紙を見せる

戦争と平和は、いったい何が違うのでしょうか？違いを比べた絵本があるので読んでみます。

最初から最後まで読み聞かせ

家族で食卓を囲む場面を見せ、文章を読む

この絵本に【へいわのかぞく】【せんそうのかぞく】の場面がありました。

「へいわのかぞく」では誰が、何をしている場面だと思いますか？

子どもの発言（例「家族でご飯を食べている」）を聞く

では、「せんそうのかぞく」は、どんな場面だと思いますか？

子どもの発言（例「ミサイルが落ちて逃げた」「兵隊がやってきた」）を聞く

この「せんそうのかぞく」のように、戦争が起きて家族全員の運命が大きく変わってしまうことがあります。

2『アンネ・フランクものがたり』

表紙を見せ、女の子（アンネ）を指さす

戦争のために、家族と一緒に2年間も、隠れ家で暮らした少女がいます。名前はアンネ。

今から約 80 年前、アンネは、お父さんとお母さん、姉のマルゴットと一緒にオランダで暮らしていました。

p.20 日記帳の写真を指さし、p.21 1行目～6行目を読む 13歳の誕生日、日記帳をもらったアンネは大喜びし、日記に名前を付けました。【アンネは、新しいひみつの友だちを「キティー」とよび、（中略）なんでも好きなことを、自由に書くことができました。】

アンネの誕生日からしばらくしたある日、姉のマルゴットがドイツ軍に連れ去られる危険が迫り、家族全員で隠れ家へ逃げました。

p.38、39、41の写真を順に指さす

隠れ家はビルの中にあり、4つの部屋には、アンネの家族の他に、ファン・ダーン氏と夫人、息子で15歳のペーター、歯医者者のデュッセル先生、全部で8人が暮らしていました。

p.51 13行目～p.14 11行目を読む

昼も夜も誰かに見つからないように、隠れて暮らすアンネたちは、いったいどんな毎日を送っていたのでしょうか？隠れ家ではかなわない夢が書いてある部分を読みます。【「もし自由になって、もとのくらしにもどったら、まずさいしょに、なにをしよう」（中略）そして、早く学校にもどりたい!」】

p.53 8行目～9行目を読む

アンネはこんな夢を抱きました。【「新聞記者になって、世界じゅうを旅するつもりよ」】

表紙を見せる

アンネの夢は叶ったのでしょうか？

アンネの隠れ家での暮らしや、アンネの気持ち、『アンネの日記』のことを知りたい人は、この『アンネ・フランクものがたり』を読んでみてください。

3『さがしています』

アンネたちが隠れ家で暮らしていた頃、日本も戦争をしていました。

表紙を見せる

この『さがしています』という本は、1945年8月6日、広島に落とされた原子爆弾（原爆）のことを、物を手がかりに伝える写真絵本です。

p.7 お弁当箱の写真を指さし、p.6 1行目～19行目を読む

例えば、これはお弁当箱です。文章を読みます。【いただきます いただきます レイコという女の子は ぼくの ふたを ぱかっと あけて（中略）レイコちゃんが いえなかった 「いただきます」を。】

p.9 紫色のワンピースの写真を指さし、p.8 1行目～25行目を読む これは、紫色のワンピースです。【すー…… はー…… すー…… はー…… セツコさんは いきを すー……と（中略）わたしは わすれないよ すー…… はー……】

p.23 非常袋の写真を指さし、p.22 1行目～20行目を読む

これは、非常袋です。【もしも いま にげなきゃ!と なったら あなたは なにを もってにげる?（中略）ウランから にげることができるとしたら それは はじける まえに とめるしかない…… 「もしも」を わたしは さがしているの。】

p.30～31 写真を見せる

今紹介したお弁当箱、ワンピース、非常袋の3つの物は、広島平和記念資料館にある物です。持っていた人が誰なのか、原爆が落ちた瞬間に何をしていたか、生き延びることができたかできなかったかなどが、後ろのページに詳しく書かれています。

他にも、時計や、メガネ、カギ、靴などが登場しますので、広島でどんなことが起きたのか、続きを読んで調べてみましょう。

4 『かあちゃんのジャガイモばたけ』

戦争では、仲が良かった人と、敵と味方に分かれ戦うということもあります。

表紙を見せ、最初から息子たちとジャガイモを育てる場面まで読む 【『かあちゃんのジャガイモばたけ』 むかし、むかし、ふたつの国がありました。(中略) むすことはたけを、せんそうからまもるために、はたけのまわりに、高いへいをめぐらしました。】

かあちゃんと息子たちは、塀に囲まれた居心地のいい家で、ジャガイモを育てて暮らしていました。

にいちゃんが家を出る場面から、兄弟が東の国の将軍と西の国の司令官になった場面まで読み、兄と弟を順に指さす ところがある日、息子たちは外の世界が気になりだしました。その場面を読んでもみます。【ふたりのむすこは、おおきくなっていきました。(中略) にいちゃんは、東の国のしょうぐんに、おとうとは、西の国のしれいかんになりました。】

東の国と西の国の間では戦争が続き、あちこち焼けて食べ物がなくなりました。二人の兄弟は、食べ物がある場所を思い浮かべ、かあちゃんが一人で暮らす家に軍隊を連れて行きました。

二つの国の軍隊が戦いを始めました。かあちゃんや、二人の兄弟はどうなってしまうのでしょうか？ 知りたい人は、続きを読んでみてください。

5 『せんそうがやってきた日』

最後に、戦争のために生まれ育った国を離れ、難民になった女の子の話を読みます。

最初から最後まで読み聞かせ

●まとめ

紹介した本の表紙を順に見せ、本の書名を言う

今日は、「戦争になるとどうなるの？」というテーマで、本を紹介しました。

戦争と平和の違いを比べた絵本『へいわとせんそう』、隠れ家の暮らしを日記に書いた少女『アンネ・フランクものがたり』、広島原爆のことを伝える写真絵本『さがしています』、兄弟が敵と味方に分かれて戦った話『かあちゃんのジャガイモばたけ』、戦争のために生まれ育った国を離れ、難民になった女の子の話『せんそうがやってきた日』です。

今日紹介した本は、全部図書館にありますので、ぜひ読んでください。

【その他の本】 こちらの本もおすすめてです。また、ご自身で追加・差し替えをするなど工夫してみましょう。

- ・『なきむしせいとく ～沖縄戦にまきこまれた少年の物語～』 たじまゆきひこ／作 童心社 2022 年
- ・『ヒロシマ消えたかぞく』 指田和／著 鈴木六郎／写真 ポプラ社 2019 年
- ・『ジャーニー国境をこえて』 フランチェスカ・サンナ／作 青山真知子／訳 きじとら出版 2018 年
- ・『きみは、ぼうけんか』 シャフルザード・シャフルジェルディー／文 ガザル・ファトゥッラヒー／絵 愛甲恵子／訳 ブロンズ新社 2024 年
- ・『もっとおおきなたいほうを』 二見正直／作 福音館書店 2009 年

(山梨県立図書館 2025. 12)